

ビワ生育情報

千葉県
平成29年6月号

平成29年5月の気象

平成29年5月の半旬別の気象を表1に示した。平均気温は、第1及び第4半旬を除く4半旬で平年を上回った。月平均気温は18.5℃で、平年より0.7℃高かったが、前年より0.1℃低かった。

降水量は、第1、第4及び第5半旬で降雨がなく、第2半旬で平年を下回った。月合計は115mmで、平年の66%、前年の81%であった。

日照時間は、第3半旬を除く5半旬で平年を上回った。月合計は229時間で、平年の129%、前年の105%であった。

表1 平成29年5月の気象（暖地園芸研究所）

半旬	平均気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	16.1	16.6	18.8	0	22	21	49	30	45
2	18.4	17.3	18.0	13	26	29	31	28	21
3	18.0	17.5	18.2	68	38	23	24	27	49
4	17.7	17.8	17.4	0	25	30	36	28	37
5	20.7	18.4	20.0	0	32	0	44	29	49
6	20.0	18.8	19.1	34	32	40	46	35	18
平均/計	18.5	17.8	18.6	115	174	142	229	177	218

7月の作業（果実の発育は次ページ）

7月に入ると梅雨も明け、本格的な夏を迎える。収穫後に弱っていた樹は勢いを取り戻し、夏枝の伸長が盛んであるが、根の伸びは鈍くなる。7月の作業は夏の乾燥期に向けて草刈り、敷き草、カミキリムシの防除がある。

草刈り

梅雨明け時期に園内の草刈りを行う。高温乾燥期に草を生やしておくのと、草に水分がとられ、土は乾燥状態になりやすい。土が乾燥すると花着きはよくなるが、過度の乾燥は樹を弱らせる。草刈りを行い、土の乾燥防止のために刈り草は樹冠下に敷く。

カミキリムシの防除

カミキリムシはリンゴ、イチジク、クワ、ビワなどを加害する枝幹害虫で、ビワに寄生するカミキリムシはクワカミキリが多い。体長は4cm位、体は黒色地に暗黄色の短毛が密生している。幼虫は枝幹中に食入し、木質部を食べて育ち、枝の中心部を食い荒らすため、食害を受けた枝は折れやすくなり、甚だしい場合には枯死する。また食入部の傷口からがんしゅ病が感染することがあるので注意を要する。成虫は産卵のために、7～8月に現れるので、朝夕の活動の鈍いときに捕殺する。卵は見つけ次第つぶす。

果実の発育

6月1日現在のビワの果径は表2に示した。横径は、「楠」が4.20cm、「大房」及び「田中」では3地区の平均がそれぞれ4.93cm、4.59cmであった。本年の横径は、「楠」は平年より小さく、「大房」は平年並みで、「田中」は平年よりやや大きかった。

縦径は、「楠」が4.74cm、「大房」及び「田中」では3地区の平均がそれぞれ5.35cm、5.26cmであった。本年の縦径は、「楠」は平年並みだが、「大房」及び「田中」は平年より大きかった。

果形指数は、「楠」が0.89、「大房」及び「田中」では3地区の平均がそれぞれ0.92、0.87であった。果形は3品種共に平年より縦長傾向であった。

着色程度は、「楠」が3.0、「大房」及び「田中」は3地区の平均でそれぞれ3.2、2.0で、着色の進みは3品種共に平年並みである。

暖地園芸研究所では早生品種の収穫は5月中旬から始まり、「楠」は5月29日、「大房」は6月1日に始まったが、「田中」は収穫期に至っていない。本年は開花がやや早く、開花期から5月までの平均気温は平年並みに推移したため、収穫期は3品種共に平年並みの見通しである。

本年は平年に比べ、着花房率がやや高かったが、寒害を被った幼果が多かったため、着果量は平年並みからやや少ない。病害虫ではクワゴマダラヒトリの発生は平年より少なく、果実の被害程度も平年より少ない。また、果樹カメムシ類の被害は現時点ではほとんどみられない。以上のことから、最終的な収量は平年並みからやや少ないと予想される。

果樹カメムシ類の越冬量は、南房総市ほか県南地域で中発生年と同様の傾向を示すため、今後の発生予察情報を参考にする。カメムシの発生の多い園では、ビワ園への飛来に注意を要し、薬剤防除に取り組む。防除に際しては千葉県農作物病害虫雑草防除指針に従う。

表2 果実の発育（6月1日の果径及び着色程度）

品 種	調 査 地	横径 (cm)			縦径 (cm)			果形指数			着色程度			
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年	
楠	暖地園研	4.20	4.43	4.33	4.74	4.76	4.92	0.89	0.93	0.88	3.0	3.0	3.9	
	青 木	4.83	4.98	5.16	5.17	5.12	5.59	0.94	0.97	0.92	3.1	3.0	3.9	
	大 房	南 無 谷	5.08	5.00	5.50	5.43	5.17	5.57	0.93	0.97	0.99	3.3	3.1	3.9
	暖地園研	4.87	5.05	5.52	5.45	5.12	5.71	0.89	0.98	0.97	3.3	2.9	4.1	
	平 均	4.93	4.99	5.39	5.35	5.13	5.62	0.92	0.97	0.96	3.2	3.0	4.0	
田 中	青 木	4.50	4.44	4.85	5.14	4.93	5.68	0.88	0.90	0.85	1.7	1.8	3.2	
	南 無 谷	4.71	4.38	4.80	5.45	4.91	5.78	0.86	0.90	0.83	2.1	1.8	3.2	
	暖地園研	4.57	4.52	4.95	5.20	4.97	5.55	0.88	0.91	0.89	2.1	1.8	3.4	
	平 均	4.59	4.45	4.87	5.26	4.94	5.67	0.87	0.90	0.86	2.0	1.8	3.3	

注) 果形指数：横径／縦径

着色程度：1(未着色)、2(黄白色)、3(淡橙黄色)、4(橙黄色)、5(濃橙黄色)

平年：横径、縦径、果形指数は昭和62年～平成28年の30年間の平均、着色程度は平成11年～平成28年の18年間の平均。

なお、表の数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

【問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>